

べっぴ

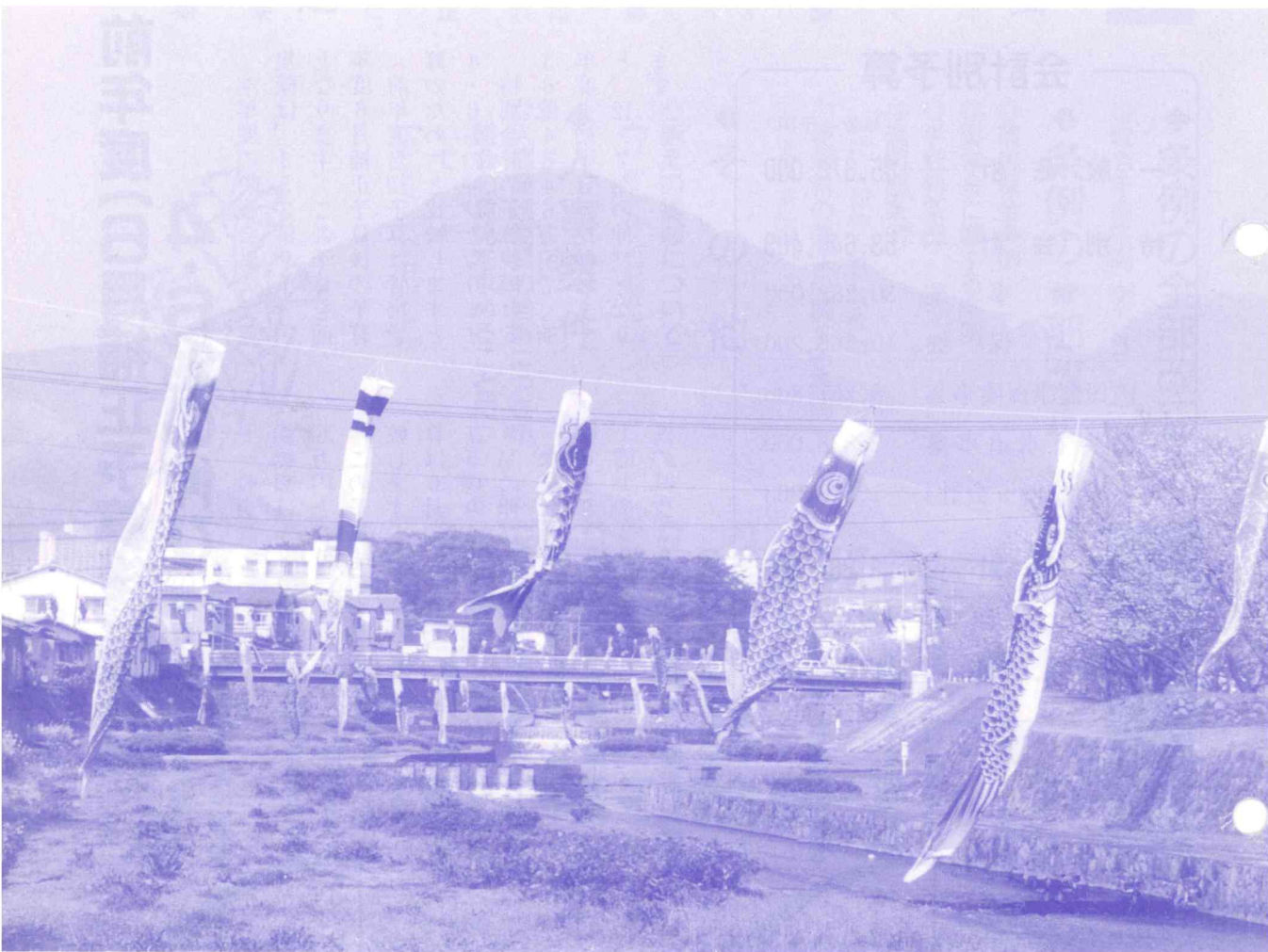
市議会だより

第3号

平成4年5月1日発行

編集 別府市議会だより
編集委員会

発行 別府市議会事務局
☎ 21-1111 内線 253



記事案内

- 新年度予算……………2
- 主な議決結果
議員提出議案……………3
- 松原町決議について
議案質疑……………4
- 一般質問……………5～7
- 委員会の改選……………8

3月定例会のあらまし

平成4年第1回定例会は3月4日から3月23日まで開催されました。

この定例会では、市長から提出された55議案が審議され、予算関係議案24件、条例関係議案21件、その他6件が原案可決され、人事案件4件に同意しました。

また、この外にも議員から提出された議案11件のうち、8件が可決され、3件が否決されました。

平成4年度一般会計予算 353億7千万円に 決まりました

前年度(6月補正予算後)より
4.6%の伸び

会計別予算

(単位=千円)

一般会計.....35,370,000

特別会計.....53,648,463

競輪事業 30,282,000

老人保健 10,586,200

国民健康保険事業 8,261,300

公共下水道事業 2,828,000

その他(計9会計) 1,690,963

企業会計.....3,264,916

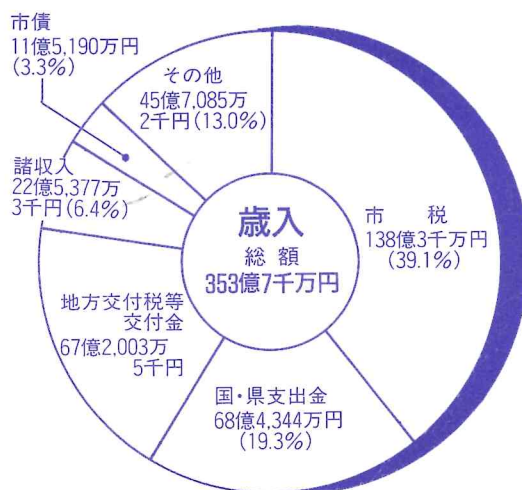
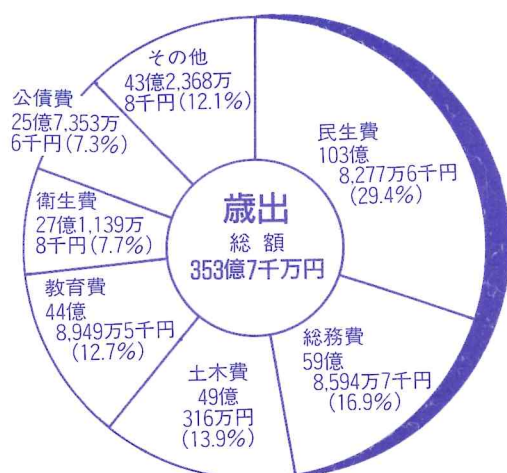
(水道事業)

総額.....92,283,379

本年度の一般会計の予算規模は、353億7千万円となります。この予算を前年度6月補正予算後の予算(前年度当初予算は骨格予算のため)と比較しますと、4.6%の伸びとなります。特別会計の予算規模は536億4846万円で、前年度当初予算と比較しますと、12.7%の伸びとなります。

一般会計とあわせた予算総額は、890億1846万円となります。この予算総額を昨年と比較しますと、(一般会計予算は6月補正予算を含む)75億9927万円、9.3%の伸びとなります。企業会計の予算は、32億6491万円で昨年から1億1737万円、3.4%の減少となっております。

(一般会計予算の内訳)



主な議決内容

◆補正予算の概要

平成3年度の補正予算は、年度の最終予算であることから、決算見込み額によって、それぞれ整理がなされております。

◎平成三年度一般会計補正予算

【全員賛成】

歳入歳出それぞれ6億2630万円が追加され、総額は367億4720万円になりました。

◎平成三年度特別会計補正予算

【全員賛成】

国民健康保険事業特別会計ほか6会計が計上され、それぞれ原案のとおり可決されました。

◎平成三年度水道事業会計補正予算

【全員賛成】

原案のとおり可決されました。

◆条例の制定

◎老人ホーム入所判定委員会条例

例

◎職員の育児休業等に関する条例

例

【以上2件全員賛成】

◆条例の全部改正

◎敬老年金条例【全員賛成】

◆条例の一部改正

◎環境保全条例

◎奨学金に関する条例

◎手数料条例

◎消防団条例

【ほか12件全員賛成】

◎使用料の徴収に関する条例

【賛成多数】

◆その他

◎訴えの提起について

【ほか5件全員賛成】

◆人事案件

◎人権擁護委員の推薦につき市議会の意見を求めることについて

【ほか3件全員同意】

議員提出議案

議員より提出された議案11件が、次のとおり議決されました。

◎『国民健康カードシステム』の開発・普及事業に関する意見書

◎小児アレルギー対策に関する意見書

◎保健・医療・福祉マンパワーの確保を求める意見書

◎『子ども読書年』制定に関する意見書

◎環境「庁」から環境「省」への格上げに関する意見書

◎環境対策基本法制定を求める意見書

◎原爆被害者援護法の制定を求める意見書

◎以上、意見書7件を可決し、政府、関係機関へ送付しました。

◎軍事費予算の削減を求める意見書

◎政治腐敗防止に関する関係法律の整備を求める意見書

◎コメ輸入自由化に反対し、主食・コメを自給するためにド

ンケル案を拒否することを求める意見書

以上、意見書3件は否決されました。

◎松原町大火被災者に対する救援対策に関する決議

この決議は全員賛成で可決されました。

議会用語ミニ辞典

本会議と委員会

本会議とは、全議員で構成する議会の会議のことですが、広範多岐にわたる案件をすべて本会議で審議しているのは、時間がかかり、また能率的ではありません。そこで、それぞれの案件をより能率的、専門的に審査するために、委員会の制度が設けられています。

現在、別府市議会には4つの常任委員会と、3つの特別委員会並びに議会運営委員会が置かれ、会期中はもちろんのこと閉会中も活発な活動を行っています。

松原町大火被災者に対する

救援対策等に関する決議

去る3月29日に発生した松原町大火災に関する緊急質問を受け、左記のとおり松原町大火被災者に関する決議がなされました。

去る2月29日に松原町で発生した火災は、楠銀天街の一部並びに松原市場を含む延べ三二六八平方メートルを消失し、被災世帯25世帯に及ぶ戦後最大規模の大火災となった。当該地域はかつては繁華街として観光都市別府の発展に大きく貢献してきた歴史のある地域であるが、古い木造家屋の密集する地域であったところから火の回りが早く、殆どの被災者が着のみのままで焼け出され、残寒未だ厳しいなかで一度に店や住宅を失った被災者の方々の心労、辛苦は想像を超えるものがあり、緊急なる救援対策が強く望まれるところである。

市当局は、直ちに災害対策本部を設置して被災者の救援に取り組んでおられるところであるが、被災者に対する当面の住まいの確保、日常生活に対する援



助、復旧に向けての資金援助等、被災者の方々が安心して復旧に取り組めるよう万全の救援対策を講じるとともに、今回の災害を教訓として、他地域にも多く残る老朽家屋密集地域に対する防火体制の見直しと充実を早急に図るよう、強く求めるものである。

以上、決議する。

議案質疑

新テニスコート 測量委託料について

問 今回の体育施設費で新テニスコート測量委託料についてこの測量場所はどこか。

答 県道別府―一宮線（やまなみハイウェイ）に沿った別府近鉄ロープウェイ下方一帯の地にテニスコートを新設したい。

問 過去二カ年にわたってこの場所を紅葉の名所にするために市報等で参加者を募って植栽をしているはずであるが、測量箇所が重なるのではないか。

また、現地には湧き水があると思われるが、その水源への影響は大丈夫か。

答 一部において紅葉の植栽場所と重なる部分があると思う。また、水源への影響については環境アセスメントも含めて調査依頼をする。

問 紅葉の森づくりに当たっては苗木を四国や京都から無償でいただいて、そして市民の方々のボランティアで進めているも

のであり、その同じ場所にテニスコートをつくることについては、せっかく汗水流していただき夢を与えた人達の善意を踏みにじる行為ではないのか。

また明らかに水源があるとわかっていて場所にスポーツ施設をつくることには問題がある。（追加付記）予算執行については、地元住民の同意を得ることなど6項目の要望を付すことの付帯決議を行った。

大型温泉施設 建設事業計画について

問 的ヶ浜公園地域内の大型温泉施設計画について問う。

答 建設費が約5億円、付帯工事を含めた総事業費は7億円を見込んでいる。また施設内容としては建物が木造二階建てで1500㎡、収容能力はピーク時に400人程度、年間約30万人を予定している。

問 将来的に近隣のスパピーチとの関連また当別府市のウォータフロント計画を推進している現在、その整合性も十分考慮した中で大型温泉施設のあり方を考えていただきたい。

一般質問

一般質問は3月11日から13日までの3日間にわたって行われ、21人の議員が質問に立ちました。質問をした議員名とその要旨は以下のとおりです。

質問をされた議員

山本一成	菅 正雄
佐藤博章	菅 元生
富田公人	清成宣明
梶原九州男	小林健一郎
岡本義美	中村正三
河野数則	岩男三男
原 克実	児玉浩至
内田有彦	浜野 弘
加藤義則	泉 武弘
首藤 正	本田行男
白石 昇	(議席順)

国保税引上げ 天下り人事やめよ

問 国保税を引上げる意向があると聞くが事実か明らかにせよ。

答 国の指導もあり最高限度額を含めて改定を6月議会にお願いしたいと考えている。

問 市民の負担は今でも限度を

こえている。引上げは絶対に許せない。引下げて市民のくらしを守れ。

問 中央官僚の天下りは、地方自治の本旨に反する。職員の能力を無視するもので許せない。撤回せよ。

答 確定してはいない。検討中である。

PR用に 油屋熊八翁のマンガを

問 視覚に訴える時代の今日、別府観光の基礎を築いた油屋熊八翁の伝記をマンガにしてみてもどうか？ 観光PRにもなるし、油屋翁を知らない小・中・高校生にも、市民にも別府の歴史を理解してもらうことでいい影響があると思う。TVドラマ化できればより素晴らしいことと思うが。

答 大変ユニークな発想での提言として検討したい。

不公正な

同和对策事業の廃止を

問 格差は既に解消している。老人クラブに8万円、少人数の同和団体に380万円、このよ

うな同和団体への補助金等同和对策事業は廃止せよ。

答 御指摘の団体に対して補助金を支出してきた経緯はあるが、年々削減をして現在にいたっている。

問 内成ゴルフ場建設に際しては、大分さんしょう魚等の保全に努めること。

答 専門家の指導による、十分な保全を行うよう指導したい。

事故防止に 通学路の総点検を!!

問 最近通学中の交通事故及び子供を取り巻く事件が多発している。新入生を迎えるにあたり一部の通学路の点検を行なった所、工事現場の安全対策、橋の欄干等の危険箇所が多い。この際、子供の目線で通学路の総点検を。

答 現在社会の実態をよく視察された提案であり、教育委員会のみでなく、各機関共協力し、事故防止のため通学路の総点検を行ない、安全対策に万全を期す。

一部校区については、関係機関と協力して点検を実施した。

扇山ゴルフ場 コース改修問題

問 扇山ゴルフ場のコース改修をするに当たっては、ハーフ営業で行うのではなく、きちんと定められた期間を設けて、その期間中コースを閉鎖した上で工事にかかるべきではないか。また、クラブハウスはゴルフ場の顔としての役割を果たすべきと思うがどうか。

答 改修工事の手順をまだ決めておらず、可能かどうかは今申し上げかねる。クラブハウスについてはおっしゃるとおり。

市長の 政治姿勢について

問 天下り人事について、派遣職員については流動的との考えが述べられたが、そのように理解してよいか。なぜ派遣職員が必要か、別府市の職員ではその職責において対応できないと判断されるのか。

今年度退職予定者は前から確実視されていたというのに、その職に対応できる人材を育てなかったのは、市長の責任だ。

答 まだ各省とも派遣職員はきまっていない。

観光振興について

問 対ロトルア五周年事業について

答 ニュージーランドオールブラックスチームの来日可能。グラウンドと対戦相手については今後検討する。

問 方位板の設置について

答 グローバルタワーが出来るので天皇在位公園の中心点に設置の方向で検討してみたい。

問 温泉博物館の建設について

答 新年度に基礎調査をするという事で準備を進めている。

北部振興策について

問 今回の予算では南部住環境整備、東山周辺振興の基本計画策定委託料が計上されているが、北部亀川地区の地域振興はどう考えているのか。北の玄関口であり海、山、温泉と素晴らしい景観、資源、土地と恵まれた立地条件が数多くあるが、市の最重要施策として取り組むべきと思うがいかが。

行財政健全化について

問 行財政の健全化は七ヶ年計画の最終年となった。当初の目標が達成できたもの、出来ていないもの等あると思うが、総括を行い成果を確認し今後の行財政運営に役立てたらどうか。

答 ご指摘の通り職員数や経常収支比率等すでに目標を達成できたものもある。早急に総括を行いさらに行政診断も行なう事により、健全な行財政運営ができるよう努めたい。



温泉プール跡

利用計画案に反対

問 地方自治は、市長が職員や部課長と心を一つにし関係職員の埋れ隠された英知と実力を引き出し市民の期待に応えることが大切。中央官僚を市財政で賄う唐突な天下り人事に猛省促す。また、死に体化の温泉プール跡利用に對し、地元の原町住民や全市民の意見・要望を無視した一方的な物産展示会館の予算化には問題があり、再検討を強く求める。

「老人福祉」の充実を図れ

問 急激な勢いで進んでいる日本の高齢化社会にどう対処するのか大きな問題だ。国民が安心して老後を迎え、豊かな生活が出来るよう保障するのは国、地方自治体の責任である。

別府市における福祉の現状は、まだまだ遅れている。①安心して「在宅介護」が出来るよう各種介護機器の貸出しを増やせ。②「介護手当」を支給せよ。
答 ①介護機器の貸出しについて

ては、社会福祉協議会と連携を取りながら充実していきます。
②介護手当については、制度の実現に向けて努力してまいりたいと思っております。

福祉行政の課題と対応について

問 平成二年の精薄者実態調査に基づいて、当市も施策を検討せよ。

答 国、県の方針に基づき実施する。

問 福祉振興基金の活用のかえは。

答 ゴールドプランや五年度から実施される老人福祉計画策定に基づき、現在、福祉担当部門で検討中である。

問 福祉センターの建設計画については。

答 建設計画について先進地を二回調査し、現在早期建設を目指して種々検討している。

緊急通報システム 700台設置

問 平成3年度末からスタートする緊急通報システム導入についてのその後と、平成5年度ま

でに700台の設置で十分か。

答 緊急通報システムが導入された時の設置希望者を把握したところ、約700人が「ぜひに」と希望したので当初700台とした。

また、現時点では設置希望者が増えていることも考えられるので、真に必要な方から順次設置する。

別府観光浮揚と

活性化に努力を

問 低迷する別府観光の浮揚と、別府市全体の活性化に向け最大限の努力をされたい。方法として、宣伝予算等も含む大幅な見通しが急務と考えるが、当市の考えを伺いたい。

答 別府観光の浮揚実現のため、広範な面から、努力してまいりたい。浮揚効果が現れてくるには、時間が必要であり、今後とも誘客に向けて最大の努力を続けたい。

道路・保育・

健康カード問題について

問 平成7年度に高速道が全面開通する。都市計画道路はその

アクセス道路として重要性を増してくる。今後どのように整備していくのか。また、福祉モデル都市としての機能が不十分なので、街路を総点検してどうか。また延長保育、健康カードの導入についてはどうか。

答 現在、都市計画道路改良率は37・2%で遅れている。歩道部分も含めて早期に対策を進める。延長保育導入については出来るだけ早い時期に認可保育所（園）、特に民間保育園に協力を求め延長保育実施に向け努力する。健康カードについては実態調査を進め検討する。

コンベンション

問 コンベンションセンターのオープンに向けて宿泊施設や観光施設等の受入れ態勢は大丈夫か。受入れ態勢を確立するために官民一体のプロジェクトチームをつくってはどうか。

答 別府は温泉と自然に恵れているので、コンベンションシティとしては素材はいいと思う。観光関係者の連携を図り官民挙げて取り組む。プロジェクトチ

ームについても検討したい。

共同温泉の現状と 対策について

問 南部地区共同温泉の運営状態を調査したところ、近い将来その存続が危ぶまれる温泉もあるが、市当局はその実情把握をしているのか、又その対策については如何に考えているのか伺いたい。

答 当局の実情把握が遅きに失した点を反省し早急に現況調査を実施した上で、将来計画を含め、抜本的な対応策の検討に入りたい。

学校の5日制について

問 実施に向けての対応策は、
答 9月から実施される予定の学校週5日制は、子供に「ゆとり」をもたせるのが、大きな目的である。家庭や地域社会の受け皿づくりが大切であり、現在校長会やPTA等と検討をしている。土、日曜日は家庭の日、地域の日としたい。

今後は、子供会やスポーツ少年団、広くは社会教育団体等との関係が特に重要となってくる

ので、その対策を充分にとつていきたいと考えている。

ワールドカップ サッカー誘致へ

問 2002年ワールドカップサッカー大分県誘致と別府市での開催に向けての取り組みを伺いたい。

答 世界的な大イベントでありもし別府市での開催が実現できればスポーツ観光のイメージアップのみならず、その経済的効果は相当なものと予測され、今後、官民一体となった誘致運動推進に向けて積極的に取り組みたい。



議会の構成が変わりました

去る3月23日定例会最終日に各常任委員会と、議会運営委員会の改選が行われ、委員長(◎)副委員長(○)が決定しました。各委員会の正副委員長および委員は左記のとおりです。

常任委員会

▼総務文教(8人)

◎岩男三男 ○岡本義美
行部弘文 菅元生
中村正三 泉武弘
井上信幸 朝倉 斉

▼観光経済(8人)

◎江藤勝彦 ○梶原九州男
佐藤博章 井田逸朗
宮本博英 加藤義則
伊藤敏幸 岡部茂人

▼厚生(8人)

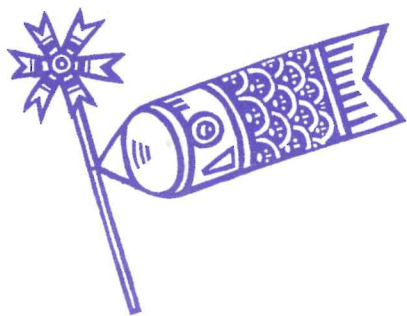
◎小林健一郎 ○山本一成
永井 正 児玉浩至
浜野 弘 首藤 正
白石 昇 矢野 彰

▼建設水道(9人)

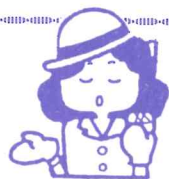
◎原 克実 ○富田公人
菅 正雄 清成宣明
河野数則 内田有彦
阿佐照雄 本田行男
吉富孝夫

議会運営委員会(10人)

◎吉富孝夫 ○内田有彦
山本一成 菅元生
清成宣明 小林健一郎
中村正三 原 克実
加藤義則 本田行男



お願い



◎政治家が、各種会合への祝儀など、寄付をすると処罰されます。
◎政治家が、年賀状や暑中見舞などのあいさつ状を出すことや、お中元などの贈答をすることは禁じられています。
◎後援会が、花輪、香典、祝儀などを出すと処罰されます。

お金のかからない政治や選挙のために、公職選挙法では次のように定めています。市民の皆様のご理解をお願いします。

お知らせ

「べっぶ市議会だより」第3号をお届けいたします。本号では、3月定例会における旧年度補正予算、新年度予算、条例の制定、改正、議案質疑、一般質問などの一部を掲載しました。今後とも市民の皆様にご覧いただける「べっぶ市議会だより」の編集を目指し、努力して参りたいと存じますので、ご意見、ご要望等をお聞かせください。

別府市議会だより編集委員会
☎(21)1111

(内線 253)

傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴できます。
お気軽に議会棟4階へお越しください。
6月定例会は、6月中旬に予定しております。